

H i r o s a k i S a k u r a C o n c e r t

# 弘前さくらコンサート

2015.  
**4.25 SAT**

START OPEN 11:00

**11:30 →**

**弘前市民会館**

[主催] Rainbow Muse Hirosaki

入場料  
1,000円

The 40th Anniversary  
企画

子どもたちによる

## 「動物たちのカーニバル」

ピアノソロ

コール・JOYFUL

うたっこの会

ピアノ連弾

動物の謝肉祭

(二台ピアノと室内楽)

弘前市吹奏楽団

サクソアンサンブル

アンサンブル

久元祐子先生による

トークコンサート

### 賛助出演

#### ■ コール・JOYFUL

小菅園子  
對馬玲幸  
米塚淑子  
大高恵子  
寺田紀代子  
福田由理子  
柴 祐子  
原子章子  
高坂美光(ピアノ)

#### ■ うたっこの会

奈良岡よしみ  
宮澤圭子  
鈴木サナ  
月館富貴枝  
榎引桂子  
直井昭子  
山中市子  
米塚淑子

#### ■ 室内楽

第1バイオリン：黒澤真守  
第2バイオリン：三ツ橋千里  
ビオラ：宮本あすか  
チェロ：藤田豊彦  
コントラバス：鈴木愛理  
フルート：竹澤聡子  
クラリネット：佐々木徹  
パーカッション：葛西奈緒

#### ■ 弘前市吹奏楽団

#### サクソアンサンブル

ソプラノサクソフォーン：石戸谷美穂  
アルトサクソフォーン：野呂理恵  
テノールサクソフォーン：外崎理恵  
バリトンサクソフォーン：小林光太

#### ■ ピアノ 野村年世

2015.4.25 SAT 15:30 →

## 久元 祐子 トークコンサート

モーツァルト：ピアノ・ソナタ K331 (トルコ行進曲付) ほか



### 久元 祐子

国立音楽大学准教授  
日本ラトビア音楽協会理事

知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えているピアニストとして高い評価を受けている。



お問い合わせ 0172-87-6088 (田中)



弘前さくらコンサートは、ピアノ指導歴40年の田中みゆきとその仲間たちが展開する音楽の祭典です。ピアニスト久元祐子先生、弘前市内で活躍している音楽仲間、子どもたちが共演いたします。楽器の王様であるピアノの素敵な音色、表現の楽しさ、コラボレーションの面白さを満喫していただきたいと思えます。土曜日の午後のひとときをさくらとピアノでお楽しみ下さい。



田中みゆき

国立音楽大学卒業。全日本ピアノ指導者協会正会員。弘前支部支部長。音楽ネットワーク弘前副代表。弘前市合唱連盟会員。コールJOYFUL主宰。田中みゆきピアノ教室主宰。ピティナピアノステップアドバイザー。ピティナピアノコンペティション、日本クラシック音楽コンクール、ショパンコンクールinアジア、青森県こどもピアノコンクール審査員。

The 40th Anniversary  
企画

子どもたちによる

# 「動物たちのカーニバル」

『動物の謝肉祭（動物学的大幻想曲）』（どうぶつものしゃにくまい、Le carnaval des animaux - Grande fantasia zoologique）は、フランスの作曲家、カミーユ・サン＝サーンスの作曲した組曲です。

全部で14曲からなり、元来は室内楽編成用として作曲されたものです。

現在では、フロコフエフの『ピーターと狼』やアリテンの『青少年のための管弦楽入門』と並ぶ、子供向け管弦楽曲の代表的作品としても人気があります。時に自由な物語を添え、語り付きで演奏することがあります。

- |   |  |                     |
|---|--|---------------------|
| ① 序奏と堂々たるライオンの行進<br>"Introduction et marche royale du lion" | ⑥ カンガルー "Kangourous"                           | ⑩ 大きな鳥籠 "Voliere"   |
| ② 雌鳥と雄鶏 "Poules et coqs"                                    | ⑦ 水族館 "Aquarium"                               | ⑪ ピアニスト "Pianistes" |
| ③ 野生のろば "Hemiones"  | ⑧ 耳の長い登場人物<br>"Personnages a longues oreilles" | ⑫ 化石 "Fossiles"     |
| ④ 亀 "Tortues"   | ⑨ 森の奥のかっこう<br>"Le coucou au fond des bois"     | ⑬ 白鳥 "Le cygne"     |
| ⑤ 象 "L'elephant"  |  | ⑭ 終曲 "Final"        |

## 久元 祐子 プロフィール

久元 祐子 トークコンサート

東京芸術大学音楽学部（ピアノ専攻）を経て同大学大学院修士課程を修了。

2012年、2014年には、イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。2011年ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾りベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。

ウィーン・サロン・オーケストラ、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン弦楽四重奏団などと共演。

1829年製ベーゼンドルファー、1843年製ブレイエル、1868年製エラールなどを所蔵。それら歴史的楽器の演奏、録音、研究を通じてそれぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。ショパン生誕200年記念年には、全国各地でブレイエルによる演奏会を行い、大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。

国立音楽大学90周年事業演奏会として行われた「歴史的ピアノが奏でる名曲の調べ」（2013年）、「黎明期のピアノ〜パリ、ウィーン、ロンドンの名器たち〜」（2014年）に出演。

長くモーツァルトをはじめとしたレクチャー・リサイタルにも取り組み、朝日新聞・天声人語でも紹介される。

これまでにCD10作をリリース。2009年にリリースしたCD「ハイドンとモーツァルト」は、毎日新聞CD選、レコード芸術推薦版に選ばれる。また2000年にリリースした「久元 祐子「テレゼ」"ワルトシュタイン"」では、グラモフォン誌上で「どこからどう考えても、最高のベートーヴェン演奏」など高い評価を得る。

著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」（音楽之友社）、「原典版で弾きたい！モーツァルトのピアノ・ソナタ」（アルテスパブリッシング）、「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」（学研パブリッシング）など。

国立音楽大学准教授。日本ラトビア音楽協会理事。

久元 祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

